

JRA-VAN 競馬ソフト作成体験教室

・ 開発環境を整備する

当コーナーでは、「JRA-VAN Data Lab.」サービス対応の競馬ソフトを作成していくための環境設定を解説していきます。

ここでは、「JV-Link」を Microsoft Visual C++ 2010 Express(以下 VC++ 2010 と省略)で使えるように環境設定を行ないます。

【 今回の目標 】

プロジェクトで JV-Link を使用できるように設定する。

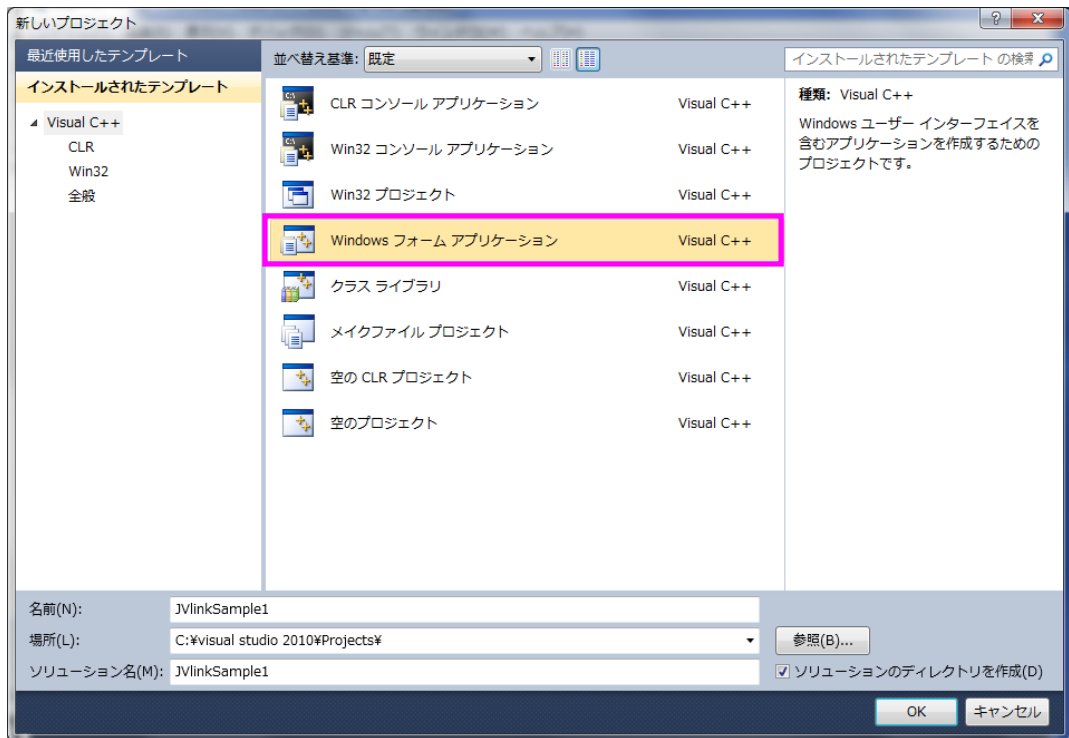
【 やってみよう 】

JV-Link をコントロールに追加しよう

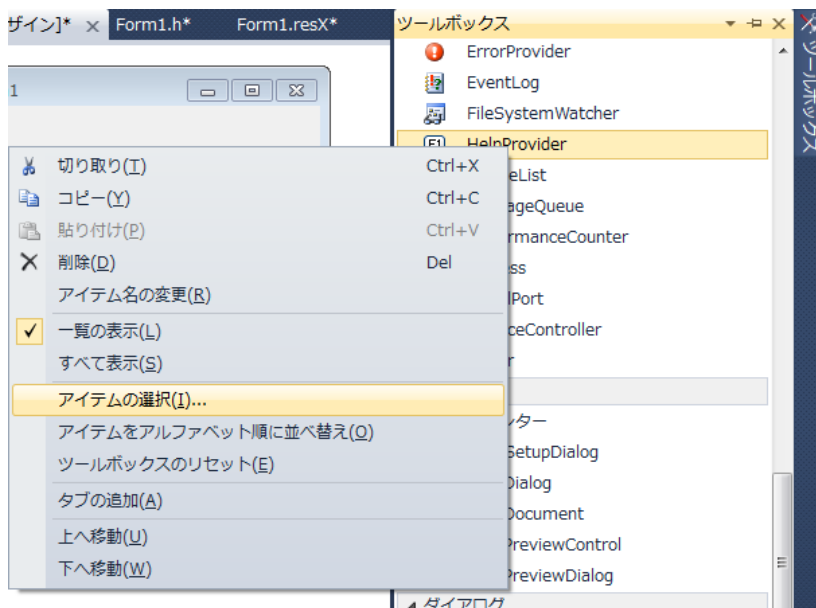
- ① VC++ 2010 を起動し、「新しいプロジェクト」ボタンをクリックする。



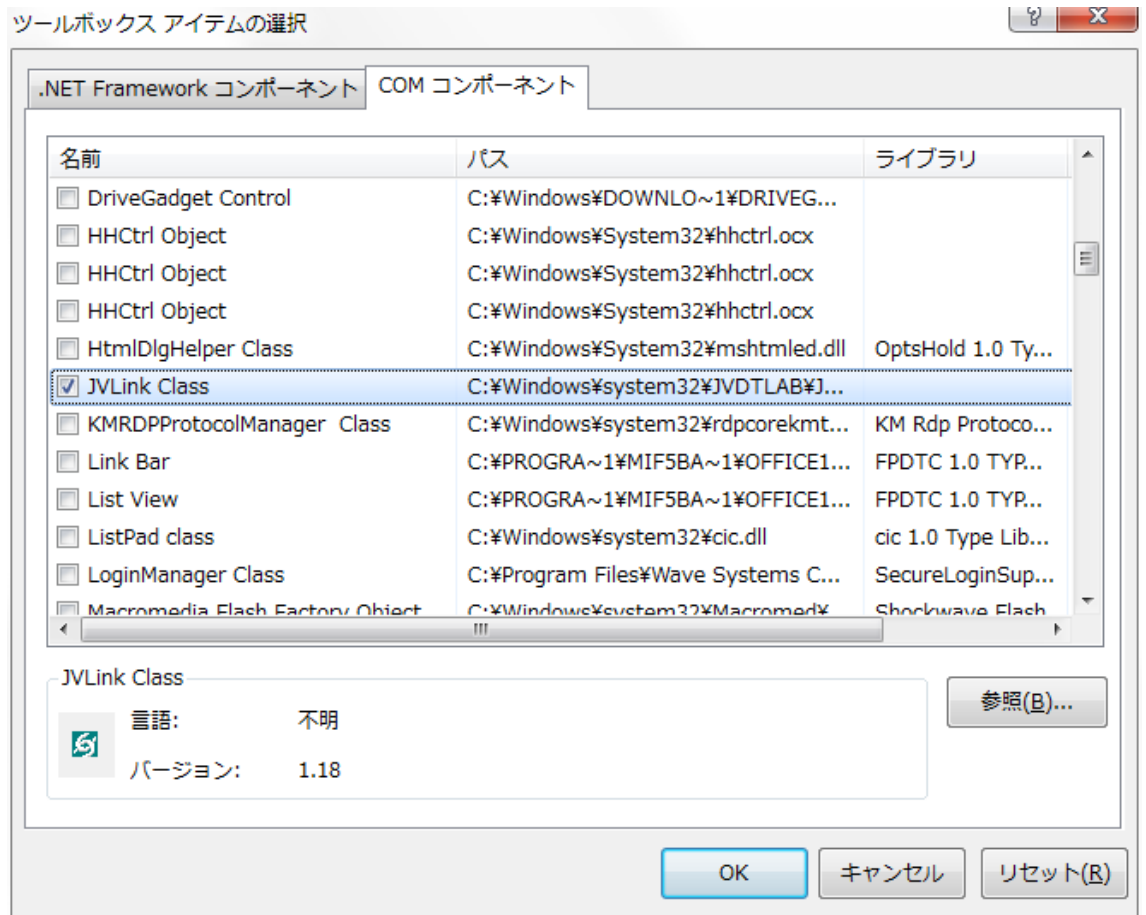
- ② プテンプレートで「windows フォームアプリケーション」を選択し、名前とソリューション名に適切な名前を入力して「OK」ボタンをクリックする。



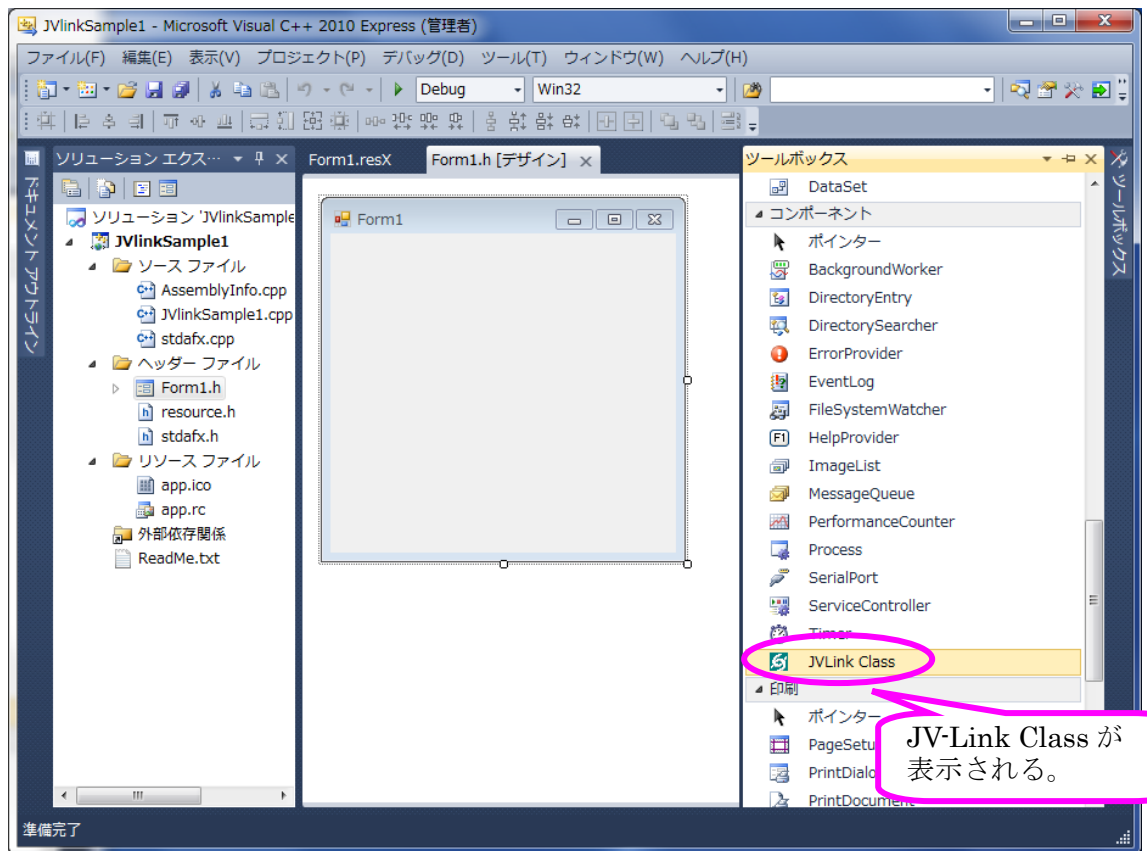
- ③ ツールボックスのコンポーネントを右クリックしてポップアップメニューを表示し、「アイテムの選択」を選択する。



- ④ COM コンポーネントページの「JVLink Class」にチェックを入れて「OK」をクリックする。



- ⑤ コンポーネントの中に、JVLink Class が表示されたことを確認する。



【 確認しよう 】

フォームに JV-Link を貼り付けることができれば、今回の目標は達成です。

